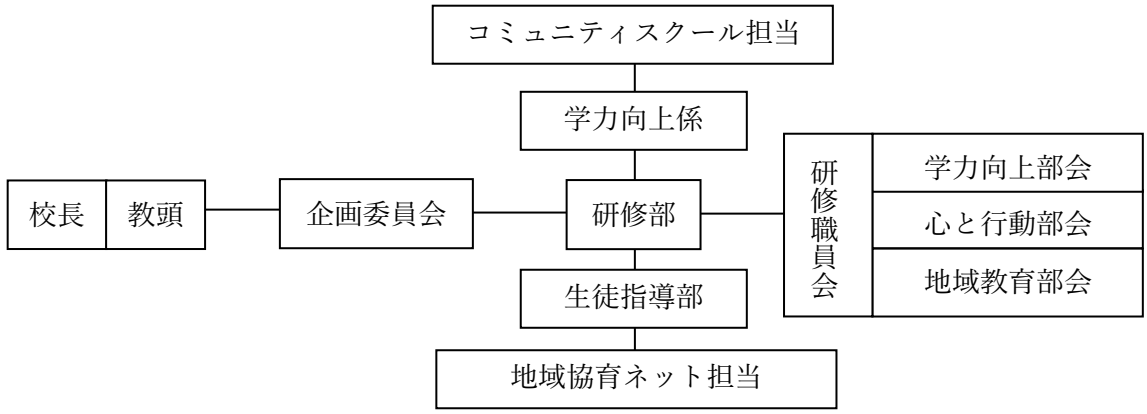
◇　研修計画

研修の経過	平成 27 年度　確かな学力向上をめざして、他者と関わり合って学ぶ生徒の育成 ～28 年度　～授業改善とソーシャルスキルの向上を中心に～ 平成 29 年度　確かな学力向上をめざして、他者と関わり合って学ぶ生徒の育成 ～30 年度　～「対話的な学び」をめざして・話す力の向上～ 令和元年度　自ら考え学び、共に高め合うコミュニケーション力をもつ子の育成 ～　～　言語活動を重視した学習場面の工夫　～
研修主題	小中一貫研修主題 **『自ら考え学び、共に高め合うコミュニケーション力をもつ子の育成』** 岩国中学校副題 **～　言語活動を重視した学習場面の工夫　～**
研修主題の説明	本校の生徒は、真面目で、教師の指導も素直に受け入れる反面、様々なことがらに対して、自主的･主体的に取り組む姿勢があまり見られず､集団としてのパワーに欠けるという傾向がある。学力調査の結果等からは、基本的な知識・技能は身についており、概ね学習に対して真面目に取り組むものの、「思考力・表現力などの活用する力が不十分」、「自分の意見や考えを他者に伝えることが苦手」といった課題が明らかになった。 こうした課題を解決するために、平成２９・３０年度は、「確かな学力向上をめざして、他者と関わり合って学ぶ生徒の育成」を主題として研修を進めてきた。その中で全職員が一つとなって、「分かる授業・楽しい授業」をめざして授業改善に取り組んだ結果、生徒の学習への興味・関心が高まり、意欲的に発表する生徒が増えるなど、一定の成果を得ることができた。 昨年度からはこれまでの研修の成果を踏襲しながら、小中一貫教育の実施に向けて、学習面における小中ギャップの解消や小中学校９年間を通して児童生徒を育てていくために、岩国中学校区の５小中学校で協議して共通の研修主題、「自ら考え学び、共に高め合うコミュニケーション力をもつ子の育成」を設定した。研修主題を設定するに当たり、「コミュニケーション力」を創造力、実践力、対応力、人間力などの様々な力を内包するものと定義づけ、小学校１年生から中学校３年生までのそれぞれの発達段階に応じた力や態度を身につけさせることで確かな学力を身につけさせることができると考えた。また、小中学校９年間の学びの連続性を高め、小中学校の教職員の「連携」と「協働」を深めることで子どもたちが安心感をもって学習に臨ませることができると考える。発達段階や各校の実態に則した取組にするため、副題は各小中学校でそれぞれ設定し、本校の副題は「言語活動を重視した学習場面の工夫」とした。更に、岩国スタンダードを意識した授業づくりにより、全職員が共通認識をもって研修課題に取り組み、生徒の学習に取り組む主体的な態度や仲間と関わり合い、協力して問題解決に臨む姿勢を育成し、多様な意見を受容する雰囲気や「伝わった」という喜びを味わわせ、さらなる自己表現への意欲につなげていけると考えている。

主題解明の方途		
	（１）学力向上部会	①　学び合い活動の充実　②　家庭学習の充実 ③　学力向上推進リーダーとの連携　④学習委員会による学習環境づくり
	（２）心と行動部会	①　岩国きんたいきょうネットでの取組　②　道徳での取組 ③　生徒会活動での取組
	（３）地域教育部会	①　きんたいきょう学（地域学習）　②　地域貢献活動による地域との交流 ③　地域との関わりを発信する取組

研修組織